

## 令和2年度上半期 止血・血栓委員会活動報告

委員長：長江 千愛 副委員長：石村 匡崇

委員：小阪 嘉之、河崎 裕英、野上 恵嗣、新小田 雄一、小倉 妙美、金田 眞

### 1. 臨床研究など

- ① 「小児造血幹細胞移植後の aHUS の疫学調査と移植後 TAM におけるエクリズマブ使用状況の調査研究」

調査結果は第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会で報告済み。論文投稿予定。

- ② 「乳幼児重症型血友病に対する定期補充療法に関する前方視的研究」

調査結果は第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会のシンポジウムで報告済み。論文投稿予定。今後、18 歳以上になった時点で血友病性関節症や ADL、臨床経過について追跡調査をすることも検討。

- ③ 小児血友病患者の診断治療ガイド

小委員会を作り、2 年以内に Opinion based のガイドを作成、発行できるようにタイムラインを作成。Q&A の内容を検討中。初めて血友病患者を診断する医師、患者家族が参考にできるように、小児血友病患者の療育に関するサポートができるガイド作成を目指す。

- ④ 我が国の小児の血栓症の治療に関する実態調査

AMED 大賀班の研究で進行中の新生児血栓症に関する実態調査をもとに、委員会としても発信をする方針。

遺伝性血栓症の遺伝子検査（PC/PS/AT）が 4 月より保険収載され、かずさ DNA 研究所での保険検査が開始された。検査結果に関する専門医からのコメント作業を研究班（大賀班）で受託し、すでに開始している。

- ⑤ その他、ALL の寛解導入療法における血栓症の調査、血友病 B インヒビターの治療実態調査など、新しい臨床研究を検討中。

### 2. 他関連学会との連携

第 41 回日本血栓止血学会にて日本小児血液がん学会と日本血栓止血学会とのジョイントシンポジウムが開催された。今後、逆に小児血液がん学会でも止血血栓に関するジョイントを他学会と計画する。

以上

文責：長江 千愛